

合同会議を開催、政策審議委員長交替を承認

内発協（今永 隆会長）では10月17・18両日、静岡県浜松市のオークラアクトシティホテル浜松で内発協の第163回理事会と第46回政策審議委員会の合同会議を開催しました。

合同会議では今永会長が議長を務め、審議事項として「入会承認」「政策審議委員会委員長の交替」などについて承認しました。報告事項として令和元年度4月から9月までの「上期事業報告」「上期収支報告」「定時総会・理事会・政策審議委員会」「自家発電設備関係の行政情報」について、事務局から報告しました。合同会議には理事11名、監事2名、理事・監事との重複者を除いた政策審議委員会委員17名、事務局5名、計35名が出席しました。

「上期事業報告」については、「自家用発電設備製品認証事業」「自家用発電設備専門技術者事業」などに関する進捗状況を製品認証部長、技術部長から報告しました。うち、「製品認証事業」に関しては、防災用自家発電装置の適合マーク（証票）の4月か

ら9月までの上期発行枚数は3,334枚で、対当初年度計画比51%、対前年度同期比112%となっています。

「専門技術者事業」に関しては、新規に資格取得を目的とする、令和元年度の専門技術者講習・試験の受験申請者数は1,974名で、対当初年度計画比116%、対前年度比114%となっています。専門技術者資格保有者が資格有効期限を延長するために5年ごとに受講する、令和元年度の更新講習受講申請者数は4,388名で、対当初年度計画比98%、対前年度比92%となっています。

「上期収支報告」については、うち、4月から9月までの「上期事業収益」に関しては、2億6,205万9千円で、対当初年度計画比73%、対前年度同期比106%となっています。4月から9月までの「費用」に関しては、1億4,996万1千円で、対当初年度計画比42%、対前年度同期比103%となっています。今回入会承認されたのは「賛助会員」1社です。